

アンケートの方法

前回までのところで統計学について学びました。今回はアンケートの取り方について学びます。

（１）アンケートの種類

①定量調査と定性調査

定量調査・・・主に【 】を対象に行うアンケート調査です。アンケート結果を数値化し、全体の大きな傾向をつかむ調査に使います。

例えば：各クラスに配布して後日回収する ・ メールや web 上のフォームで回答してもらうなど

定性調査・・・調査対象者【 】の意見や考えを直接聞く調査。

例えば：担当者に直接意見をインタビューする・対象者の行動を観察するなど

②回答方法

アンケートを作る際、どうやって答えてもらうか。というのも自分たちの環境や、聞き取りたい内容によって変えなくてははいけません。まずは、紙で回答してもらうのか、それとも web で回答してもらうのか。課題研究では、アンケートの集約に使える時間が限られています。集計しやすい質問方式や回答者にとっても答えやすいアンケートを作成する必要があります。

回答方法には大きく分けて3つあります。

選択方式

あらかじめ用意した回答の候補から選択してもらう方式で、回答者にも集計する側にも負担が少ないのがメリットです。ただし！質問や選択肢は事前にしっかりと検討すること。質問や選択肢がずれていると、欲しいデータが得られません。選択方式には以下の2つがあります。

【 】…選択肢の中からひとつを選ぶ

【 】…選択肢の中から複数選択が可能

数値選択方式

質問に対して1つの数値を選択する質問方式。平均値などをすぐに計算することができます。5段階評価などに使用されます。

自由記述

選択肢のみのアンケートからは読み取れない内容を把握することができる一方で、あまり答える量が多いと答えてくれない回答者も出てきてしまいます。

（２）アンケートの準備

①目的を明確に

「とりあえずアンケートとろう」は危険です。あとでアンケートの取り直しになったり、せっかくアンケートを行ったのに使わなかったり。ということにならないように、アンケートを作成・実施する前に目的をしっかりと明確にしておきましょう。

先行研究の論文やホームページ等 WEB 上にすでに情報がある場合は聞く必要は無いので、アンケートやインタビューを行う前にしっかりと下調べをしましょう。

どのような情報が欲しいのか、どれだけのデータが必要なのか
調査のゴールをきちんと決めておくことがものすごく大事です

②言葉の意味・定義を明確に

質問する側と回答する側で、言葉の意味や定義が一致していなかったり、あいまいだったりすると、必要な情報を正しく得ることができません。また、ある答えに回答が偏ってしまうような【 】になっていないかも要チェックです。

例えば以下の質問はどこがいけないでしょうか？よりよい質問に改善してみましょう！

Q1「あなたは食生活に気を使っていますか？」

Q2「海外で重要視されている、ワークライフバランスの考え方について良いと思いますか？」

Q3「あなたは海外に留学して、海外で就職したいですか？」

Q4「あなたは環境問題に興味がありますか？」

③諸注意

・何気ない一文字や一言、言葉遣いでも人を傷つけてしまうことがあります。言葉選びには十分注意してください。

・アンケートの場合、アンケートフォームやアンケート用紙に調査結果の使用範囲などを記載しておきましょう。

・インタビューの場合も事前にしっかりと計画を立てていきましょう。その場で質問をする可能性が高い分、誘導質問になってしまわないように注意しましょう。質問の仕方によって、調査対象者の意見をさらに引き出すことができます。